

平成28年度霧島市 「緑のカーテン」普及啓発事業アンケート結果報告書



鹿児島県霧島市

生活環境部環境衛生課



<目 次>

- 1 普及啓発事業の目的について・・・・・・・・・・P1
- 2 普及啓発事業について・・・・・・・・・・P1
- 3 アンケート結果・・・・・・・・・・P3
- 4 末永先生ワンポイントアドバイス・・・・・・・・P7
- 5 取組事例写真・・・・・・・・・・P9

1 普及啓発事業の目的について

地球温暖化対策を推進するためには、市民の理解と行動が不可欠であることから、市民が家庭等で取り組みやすい対策のひとつとして緑のカーテンの普及を図るために、平成21年度から実施しています。また、これまでのアンケート結果から地球温暖化防止以外にも環境学習、周囲の人とのコミュニケーション、心理的な癒し効果など様々な利点があることがわかりました。

本アンケート結果は、市民の皆さんのアンケート結果を取りまとめたものです。

～緑のカーテンとは～

つる性の植物を窓際にはわせて遮光し、室温の上昇を抑制することにより、冷房で消費される電力量及びこれに伴うCO₂を削減し、地球温暖化を防止するとともに、ヒートアイランドを抑制することを緑のカーテンと呼んでいます。

2 普及啓発事業について

(1)参加グループ数

100グループ（募集定員：100グループ）

（家庭76、小中学校等11、企業・市民団体等9、公共施設4）

(2)募集期間

平成28年3月1日（火）から4月6日（水）

(3)説明会及び苗配布

平成28年4月16日（土） 午前10時から正午

国分シビックセンター多目的ホール

(4)説明会内容（敬称略）

苗の育て方講座・・・講師：国分中央高等学校園芸工学科生徒 7名

質疑応答・・・講師：末永高志（国分中央高等学校園芸工学科教諭）

苗配布・・・1グループにつきゴーヤ苗6株配布

苗は、国分中央高等学校の生徒が育苗したものを配布しました。

(5)アンケート結果

回収率・・・88%

※1団体3グループまで申込可能なため、アンケート回収枚数とは数値が異なります。

説明会の様子

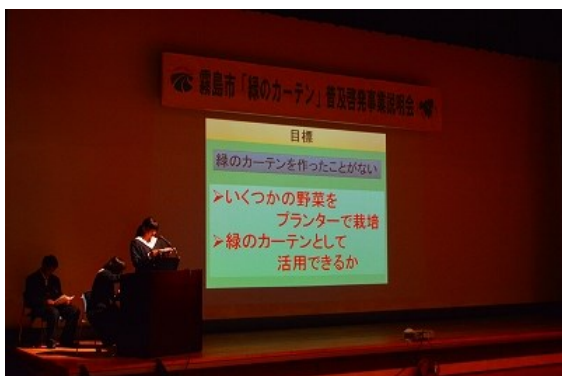
①受付



②会場



③、④育て方講座



⑤ワンポイントアドバイス



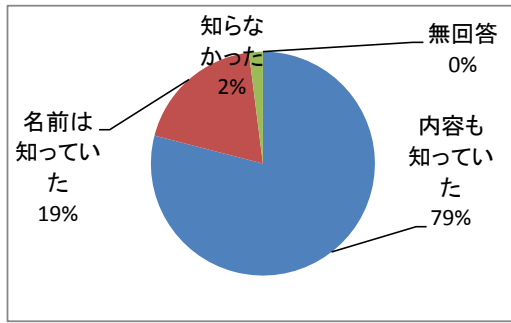
⑥苗配布



平成28年度霧島市「緑のカーテン」普及啓発事業アンケート結果

質問1 緑のカーテンという言葉を知っていましたか。

内容も知っていた	34 人	79%
名前は知っていた	8 人	19%
知らなかった	1 人	2%
無回答	0 人	0%
計	43 人	—

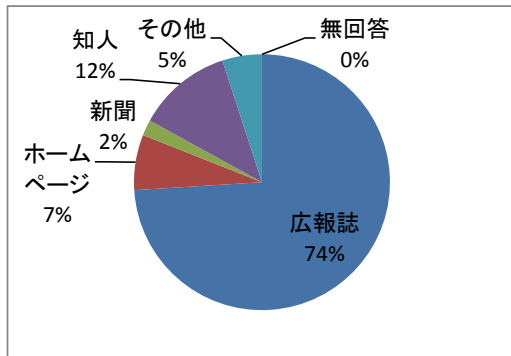


『考察』

8割近くの方が、内容まで知っているということから緑のカーテンが広く認識されていることがうかがえる。

質問2 今回の事業を何で知りましたか。

広報誌	32 人	74%
ホームページ	3 人	7%
新聞	1 人	2%
知人	5 人	12%
その他	2 人	5%
無回答	0 人	0%
計	43 人	—

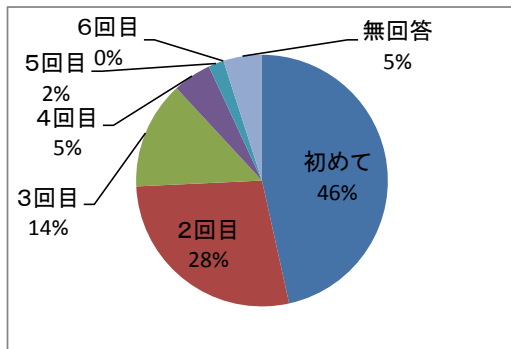


『考察』

広報誌を見て応募される参加者が大半を占めている。広報誌以外の募集方法の検討が必要である。

質問3 事業への参加は何回目ですか。

初めて	20 人	47%
2回目	12 人	28%
3回目	6 人	14%
4回目	2 人	5%
5回目	1 人	2%
6回目	0 人	0%
無回答	2 人	5%
計	43 人	—

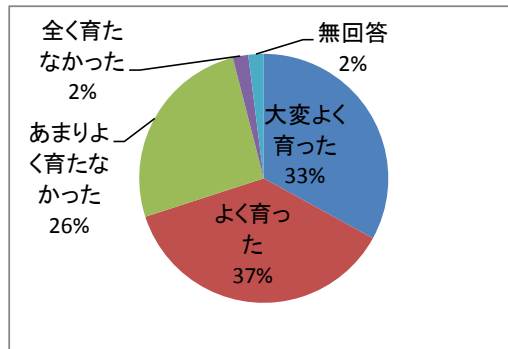


『考察』

初めて参加される方が半数近くとなっているが、2回目以上の参加者も増えてきている。

質問4 育成状況を教えてください。

大変よく育った	14 人	33%
よく育った	16 人	37%
あまりよく育たなかった	11 人	26%
全く育たなかった	1 人	2%
無回答	1 人	2%
計	43 人	—



【自由意見】

〈成功意見〉

- ・前年度に比べ天候も良く、順調に育てることができた。
- ・2年前に自己流でおこない失敗したが、今回は育て方を学ぶことができ、良く育ち収穫も満足できた。
- ・ゴーヤの収穫もでき、子ども達も喜んで食べてくれた。
- ・肥料の3要素を濃くしたので、生育が良かった。
- ・緑陰、花、実ともに大変良くできた。
- ・おいしくゴーヤをいただくことができた。
- ・よく育ち、収穫の喜びを感じた。
- ・6株の苗から大小合わせて90本近くのゴーヤが採れた。
- ・暑い日は水を2回(朝・夕)与えた。
- ・ゴーヤは小ぶりではあったが、収穫して料理できた。
- ・長雨の影響で花のつきが悪く、数個の収穫に留まったが、緑のカーテンの役目は大いに果たしてくれた。

〈失敗意見〉

- ・7月末まで葉が繁っていたが、8月に入ると葉が枯れてしまった。8月末まで緑を楽しみたかった。
- ・開始から10日ほどは順調であったが、その後は育たなかった。
- ・途中まで葉が良く繁っていたが、水やり不足で枯れてしまった。
- ・台風のために茎を傷め、生育がとまった。
- ・苗の状態は良かったが、長雨と低温により全く生育しなかった。
- ・良く育ち早い段階で収穫できたが、7月7日には枯れだした。
- ・途中で葉に病気が発生した。
- ・追肥のやり過ぎで一部枯れてしまった。
- ・8月以降に虫にやられ茎のみとなった。

『考察』

昨年度の失敗を踏まえ、今回取り組んだことでうまくできたという意見が多く寄せられた。その一方で、長雨や低温、虫等の被害を受け、うまく育てることができなかったという意見も寄せられた。

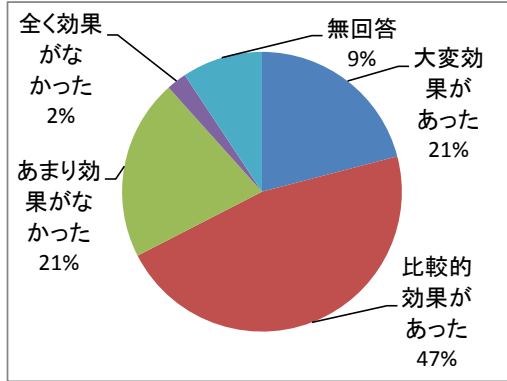
質問5 緑のカーテンを実施した箇所と実施しなかった箇所の温度を測定してください。

* 晴れた日の午後2時頃1回計測してください。

屋外	カーテン実施した箇所平均	33.3 度	屋内	カーテン実施した部屋平均	31.7 度
	実施しなかった箇所平均	35.2 度		実施しなかった部屋平均	33.1 度
↓			↓		
		平均温度差			平均温度差
		最大温度差			最大温度差
		▲ 1.9 度			▲ 1.4 度
		▲ 3.4 度			▲ 5.0 度

質問6 緑のカーテンの効果がありましたか。

大変効果があった	9 人	21%
比較的效果があった	20 人	47%
あまり効果がなかった	9 人	20%
全く効果がなかった	1 人	2%
無回答	4 人	9%
計	43 人	—



【自由意見】

〈効果あり〉

- ・部屋の中が涼しくなった。
- ・強い西日をさえぎる事ができた。
- ・東側に設置したことで、10～12時までの室温の差が大きかった。
- ・部屋から見える緑の葉っぱに涼しさを感じた。
- ・緑を見ているだけで癒された。
- ・緑のカーテンを設置した部屋は少し温度が下がっていた。
- ・緑のカーテンに蝶が飛んできたことで孫が喜んだ。

〈効果なし〉

- ・うまく育てられなかったことで効果を実感できなかった。
- ・葉っぱが小さくカーテンの効果を得られなかった。
- ・西日が強く当たる場所に設置したが温度差があまりなかった。

『考察』

長雨や台風の影響で、生育不良や枯れてしまったという意見があった一方で、日よけ効果や収穫の喜び、緑に癒された等の声が多数寄せられた。

質問7 栽培するのに苦労した点、分からなかった点、工夫した点はありましたか。

【自由意見】

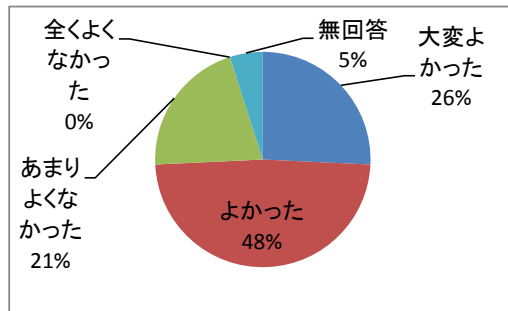
- ・アサガオも一緒に植えたことでゴーヤの花とともに楽しむことができた。
- ・暑さに対応できなかった。
- ・土の消毒、肥料のやり方が分からなかった。
- ・ツルの向きを整えることができなかった。
- ・葉が増えず、ツルだけが伸びてしまった。
- ・肥料の量や水やりが難しかった。

『考察』

長雨や日当たりなど天候の影響に合わせた世話や対策が難しいという意見が多かった。

質問8 取組全体の感想を教えてください。

大変よかった	11 人	26%
よかった	21 人	49%
あまりよくなかった	9 人	21%
全くよくなかった	0 人	0%
無回答	2 人	5%
計	43 人	—



【自由意見】

- ・子供たちも緑のカーテンに興味をもってくれた。
- ・国分中央高校の生徒達の説明が分かりやすく良かった。
- ・緑のカーテンを育てることが家族のコミュニケーションのひとつとなり、大変良かった。
- ・植え方について勉強になった。
- ・ゴーヤの収穫がとても多くうれしかった。
- ・施設利用者様と一緒に育て、収穫することができ、ご家族の方を含め、評判が良かった。
- ・施設ご来場の方々に、家庭での省エネについて、何が出来るかを学んでいただくことができた。
- ・苗を6株もいただけ、良く茂らせることができた。
- ・軒下に地植えしたことで理想的に育てることができた。
- ・窓沿いで栽培したが、次回はもう少し範囲を広げてみたいと思う。
- ・ゴーヤと一緒にキュウリを植えたら、そちらの方が葉が大きく、実も多く採れた。
- ・想像よりも成長させるのが難しかった。

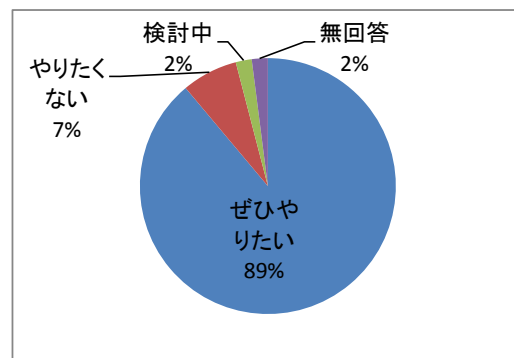
『考察』

緑があることで癒しになったという意見や収穫の楽しみがあったなど、心理的にも良い効果があることがうかがえる。

今年度の反省を活かし、来年度こそはうまく育てたいという意見も多く寄せられた。

質問9 来年度もやりたいと思いましたか。

ぜひやりたい	38 人	88%
やりたくない	3 人	7%
検討中	1 人	2%
無回答	1 人	2%
計	43 人	—



『考察』

来年度も緑のカーテンを実施したいという方が9割以上であることから、事業の有益性がうかがえる。

4 末永先生のワンポイントアドバイス！

(国分中央高等学校園芸工学科教諭)

◎水やりの方法

水やりの時間は、気温の高くなる日中を避けて、朝夕の涼しいうちにしたほうがよいです。水やりの量は、プランターで栽培している場合、土の表面が白っぽく乾いたら下の排水口から水が出てくるくらいたっぷりあげましょう。梅雨の時期は雨で土に含まれている水の量が多すぎて根腐れが発生しやすくなります。この時期はプランターの底の一方側にレンガなどを敷いて傾けておき、強制的に排水してあげると良いでしょう。

なお、プランターの土は表面が硬くなりやすい条件にあります。土の表面にワラなどを薄く敷いてあげると、土が硬くなるのが防げるのではないのでしょうか。たまに、プランターの横から軽くたたいて、土をほぐしてあげると、水はけは一段と良くなると思います。

最後に、緑のカーテンを設置する場所は、とても日当たりの良いところです。カーテンが出来上がるまでの期間、日中は土、プランターどちらも、直射日光が当たるため、かなりの高い温度を保ったままの状態になってしまいます。そこで、プランターに一工夫してみてもどうでしょうか。例えば、プランターの外側にアルミホイルのような銀紙を張ってあげるので。すると、温度の上昇も防げるほか、アブラムシ等の害虫が寄ってこないといった効果も得られます。

◎肥料のやり方について

肥料を与える前に、注意することがあります。それはプランター栽培の場合も、地植え栽培の場合も出来るだけ、毎年土を入れ替えてあげることです。何年もプランター栽培で利用した土を続けて使ってしまうと、生育は極端に悪くなります。地植えの場合も冬場に掘り起こして寒さに当てておくことや堆肥を混ぜて土作りをしておくことが大切です。

さて、肥料についてですが、肥料には様々な種類があります。出来ればゆっくりと肥料分が溶け出していくような「緩行性の肥料」が良いと思います。肥料の量は肥料の粒の大きさにもよりますが、追肥の場合（2週間日おきが目安）1回につきスプーン2杯程度が限度でしょう。やりすぎに注意してください。また、肥料は土に混ぜるようにしてください。時期によって「元気がなくなったな」「早く肥料を効かせたいな」と感じたら、1000倍くらいの液体肥料を水やり代わりに与えても良いのではないのでしょうか。

◎ツルの摘み方

先に伸びようとするツルの先端が多すぎると、植物は疲れてしまいます。目標の高さや広さに達したら、ツルの数を制限するために先端部分を随時摘んであげましょう。すると、元気のいいツルが葉の付け根より出てきます。葉の密度が高い緑のカーテンができあがることでしょう。なお、ツルを摘む場合は、摘んだ後の切り口が乾くように天気の良い日を選んでください。

◎親ツルと子ツルの見分け方

基本的に親ツルの葉の付け根から出てきているツルが子ツルです。その子ツルの付け根から出てきているツルが孫ツルです。ヘチマやゴーヤは子ツルや孫ツルの葉の付け根に雌花が着きやすい性質を持っています。実の収穫する量と葉を茂らせる面積とがバランスよくなるように、生育状態を観察しながら、先ほど述べたツルの先端を摘む事（摘心）を行ってください。なお、あまり細かく子ツルや孫ツルを見分けて管理していく必要はないと思います。

◎長持ちできる緑のカーテンに最適な植物

全国各地で緑のカーテンに利用されている植物は多岐にわたっているようです。「今後、利用されてみては」と考える植物を下に上げてみます。参考になさってください。

（果実を収穫出来る楽しみのある植物として）

- ・ヘチマ
- ・ゴーヤ
- ・大長ササゲ
- ・シカクマメ
- ・ヒョウタン

（花を楽しむ植物として）

- ・ヨルガオ（夕顔）、
- ・オーシャンブルー（宿根性アサガオ）、
- ・フウセンカズラ、
- ・ブーゲンビリア



今後とも、高校生の生徒達とともに「緑のカーテン」普及啓発事業へ協力させていただければと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

5 取組事例写真

